

●ガバナー 築館 智大 ●会長 大橋 央雅 ●幹事 伊藤 斉 ●コミュニケーション委員長 米内 安芸

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2020/

第 2267 回 例会 記録

《国際奉仕委員会担当例会
(姉妹クラブ)》

2023 年 11 月 16 日 (木)

点鐘 12：30 レポート No. 1699

《ゲスト》

妻神 和憲様 (八戸 RC)

《会長要件》吉田副会長



皆さんこんにちは、三川国際奉仕委員長初め南浦項 RC 訪問の皆様、無事帰られたことを喜ばしく、そしてご苦労様でした。今日は最初にこのことを言いたいと思っていました。

10 月後半には RLI が青森市でおこなわれ、橋本会員と出貝会員が参加し、2 日間みっちり勉強をされておりました。お疲れさまでした。

また、先週はインターアクト年次大会が十和田市の三本木農業恵拓高校で行われ、当クラブからは伊藤幹事が参加され、私もガバナー補佐として参加して参りました。八戸高校からは生徒 2 名と山口先生が参加し、他の学校の生徒さんと交流しながら、活動報告や体験学習、体験学習はうどん作りと学校で栽培しているデントコーンの皮を使ったミニ草履づくりが行われ、楽しそうに作業をしていました。このような事をどんどんやっていただけたら楽しいでしょうし、高校生もロータリーに対しての理解が深まる場になっていいのかなと感じました、八高の生徒さんお二人の中のお 1 人は石橋会員のお孫さんで、とてもかわいいミニ草履を作っていました。

昨日は地区の方から会合に参加してほしいとの連絡があり行ったところ、ロータリアンではない方 7 名と中央 RC の中村さんがいらっしゃいました。ガバナーは所用で欠席でしたが、集まった方はロータリーに興味がある方で、ロータリーに入れればというような話も少し出ましたが、昨日はお茶を飲んでロータリーについての大まかな話をして帰って来ました。当クラブは今会員 30 名になってしまいましたが、私たちの周りにもロータリーには入っていないが、地域に対して奉仕したい、活動したいと思っている方も沢山いらっしゃるのではないかと感じましたので、皆さんと一緒にそういった方々を我々の仲間に取り込むような声かけがとても大切だと感じた 1 日に

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



松橋職業奉仕委員



《出席報告》西尾委員長

正会員数 30 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 16 名。出席率は 64% です。

なりました。

これから 11 月、12 月と色々なクラブの行事もありますので、皆さんと楽しく語り、飲んで食べて、ご家族も一緒に参加できる例会もありますので、そういった意味で一緒に広い輪を作って楽しくやっていけるように皆さんと一緒に頑張っていければと思います。

《本人誕生日》吉田賢司会員

11 月 3 日で 62 歳になりました。まだまだ若輩ですが、皆様のお力に少しでもなれるように、次年度は地区の方へ出向し頑張りますのでよろしくをお願いします。



《配偶者誕生日》



熊谷会員

《結婚記念日》



米内会員

《結婚記念日》



伊藤会員



西村会員

《幹事報告》伊藤幹事



・ガバナー並びに地区大会実行委員会より地区大会参加のお礼状が届いています。

・地区事務所よりモロッコ地震救援基金についてのお願いが来ています。皆様のご協力をお願いします。

・地区事務所よりシンガポール国際大会のご案内が来ています。皆様にはメールをしています、メールのない方にはレターボックスにプリントを入れてありますので、参加希望の方は個々にお申し込みください。

・インターアクト年次大会のお礼場が届いています。
・2024-25 年度の長期交換学生の募集が来ています。推薦する方がいらっしゃいましたら事務局までお知らせください。

・ザ・ロータリアン、ハイライト米山、サイクルアイが届いています。

・今月のロータリーレートは1ドル149円です。

・聖ウルスラ学院より英語スピーチコンテスト協賛のお礼状が届いています。

・地区より記録誌が5冊届いています。事務局に置きますのでご覧になって下さい。

《ニコニコボックス》西尾委員長

妻神和憲様（八戸 RC）：

地区大会ご協力頂き誠に有難うございました。

吉田副会長：妻神地区大会実行委員長ようこそ、国際奉仕委員会の皆さん、南浦項 RC 訪問ご苦労様でした。



伊藤幹事：韓国訪問お疲れさまでした。

黒田会員：訪韓グループの皆さんに助けられ、無事帰れました。

本人誕生日：吉田賢治会員

配偶者誕生日：熊谷会員

結婚記念日：米内会員、伊藤会員、西村会員

《地区大会御礼》妻神地区大会実行委員長（八戸 RC）



皆さんこんにちは、私は八戸ロータリークラブ、今年度去る10月20から22日迄行われました国際ロータリー第2830地区、地区大会の実行委員長を務めさせて頂きました妻神和憲と申します。この度の地区大会、南グループの皆様には大変お世話になりました。

我々八戸ロータリークラブから15年ぶりにガバナーを輩出したという事で、不慣れな部分もいろいろあり、細かな所で皆様にご迷惑をかけたこともあったかと存じますが、色々計画したことを実行し、おおむね皆様方から及第点をいただけるような大会を開催できましたことをお礼申し上げたいと思います。八戸ロータリークラブだけではなく南グループ全体で地区大会を盛り上げろと言うのが築館ガバナーより私に課せられて命でしたから、皆様にはご無理な事を沢山言いましてお手伝いいただきました。特にさかなクンを呼んで1,000名を超える市民の方

がたを公会堂に招き入れました。あの通りなんにでも一生懸命な方ですから皆様には様々なお力添えを頂いたかと思えます。本当に感謝、感謝しかありません。本当にありがとうございました。



私ども八戸クラブは酒好きで、皆様もきっとお酒が好きだと思いますので、夜例会で飲んでいただければと、うちのクラブには橋本八右衛門がおりますので美味しいお酒を寄贈したいと思います。どうぞお飲みください。よろしくお願いたします。

《国際奉仕委員会》三川委員長

国際奉仕委員会の三川でございます。先週韓国訪問をしてまいりました。その報告をさせていただきます。スライドを使いながらお話をいたします。クラブとしては4年振りの訪問という事になりますし、私個人としては6年振りの訪問となりました。何回行ったのかと数えてみたら今回が5回目、5回も行ったのかなと思いましたが、前に行った時の経験と今回はちょっと違う所もあって新鮮な思いをして帰ってまいりました。今年は6名の会員が参りました。黒田会員、大橋会員、清川会員、吉田立盛会員、西尾会員、私という事でございます。日程は4泊5日で火曜日に行って土曜日に帰ってくるというスケジュールでした。幸い天気にも恵まれて雨は1度も降らず、楽しく行ってまいりました。（スライド写真を使って旅行記の説明）



まとめです、私なりにまとめてみました。4年ぶりの訪問でしたが従来と全く変わらない、本当に楽しい交流ができたと思っています。南浦項は相変わらず隆盛を誇ってまして会員数は125名だそうです。いつも気にしていた通訳問題ですが、今までずっと東均さんが我々から離れずに一言一言会員が言うことを通訳してくれていたのですけれども、だんだんとスマホ翻訳を皆さん使えるようになって、ほとんど東均さんを介さないで韓国の会員の方と交流が出来るようになってきています。費用の件は4泊5日で25万円、JTBを利用してかかりましたが、以前行った時に比べて10万円位高くなった様な気がしますが、円安ということもありますしJTBを利用したということもあったかもしれません。多少割高になりましたが非常にあずましい旅行をさせて頂きました。食事は何回か食べましたが非常に良いところをJTBが用意してくれていて、これまではあんまり美味しくなかったなという感じを受けることが多かったのですが、今回はどこに行っても非常に美味しい料理が出て、今回の料理、レストランについては非常に満足のできる食事をとってきたなと思っています。もう一つ気が付いたのはホテルが非常に良くなっていました。前は歯ブラシがないのは仕方がないとしても、お湯が中々でなかったり、薄汚く汚れていたりとか、あまりホテルについては良い印象がなかったのですけれども、今回それで写真を撮ってきたわけですが、何より象徴的なのがトイレトペーパーが非常に良くなったという事、前は最悪の品質のトイレトペーパーしかなかったのですが、今は模様のついた真っ白なトイレトペーパーが用意してあり違ったなと感じて帰ってまいりました。部屋も中々きれいで、絵なんかも壁にかけてあったりして、非常に居心地の良い部屋でした。中華料理を最後にソウルで食べたのですが、ここも非常に美味しく、部屋も立派で豪華な部屋でした。この写真は明洞の夜の街でイルミネーションがきれいに飾ってありました。これは南大門市場、これは今回の創立例会の記念品として、非常に厚手の立派なタオルを頂いてまいりました。こちらはポスコ見学の記念品としていただいたとても立派なエチケットセットです。そういう事で今回の韓国訪問は、素晴らしい、非常に楽しい韓国訪問でした。



《吉田立盛会員》

皆さんこんにちは韓国へ行ってまいりました。ヨロブン アンニョンハセヨ、時間もあまりないので私から簡単に、4年間間が空いて行った印象を2つ、韓国という国に対してと南浦項クラブに対して、韓国ではEV車が沢山走っていました。初めて行った頃



は、日本ではプリウスとかプラグインハイブリッドの車が多いんだよという事を言ったのですが、向こうは99%ガソリン車だったのですが、今はプラグインハイブリッドとEVが結構走っていました。向こうのコンビニでちょっとタバコなどの買い物をする時は、もう99%位の人がスマホ決済でやっていて、現金を使う人は観光客のみだったと言うのが韓国に対する印象で、クラブについては先程三川委員長が125名で隆盛を誇っていると言いましたが、向こうの会員に話を聞くと150人位からかなり減ったという事で、記念式典の物故会員の黙祷も12~3名いて、飲みながら話をすると年配の会員がどんどん減ってきていて、人数もだいぶ減ってきたという話を聞いて、少子高齢化が凄く進んでいて、浦項も初めて行ったときは60万人を超えていましたが、今は50万人を切る勢いだという事で、日本と何ら人口構造に変わりがなく、向こうも会員減少が課題になっていると言っていました。ですから若い会員がこれから盛り上げていこうと言うのと、東均さん初めお歴々がこうしなければならぬと、変わろうとしているのは同じなんだと、飲みながら話をして感じて帰って来ました。しこたま飲んできました。

《西尾会員》

僕は今回3回目で、米内会長の時と西村会長の時と今回という事で大分慣れたというか、向こうの人とも何回か行き来してお話できたので、今回は韓国の人だけでなく台湾の人とも交流を深めることが出来たのですごく良かったなと思っています。大橋会長の挨拶もハングルでしゃべっているのを全部録画してありますので、クリスマス家族例会の時に高校生や家族の方も含めて見せられるような映像であれば、写真なども含めてロータリークラブの国際交流というのをご紹介できればなと思っています。楽しい思い出でしたので又次年度、50周年もありますのでそこに向けて、国際奉仕をどんどん活発にしていければと思っています。

※時間の都合でご紹介出来ませんでした黒田会員の感想をご紹介します。

《姉妹クラブ訪問 韓国旅行随想》黒田正宏

◎全体として

ソウルでもポハンでも大変楽しい旅行でした。私自身は高齢者であり、体力低下で若いメンバーに迷惑を掛けないようにしたつもりですが、清川さんらの旅行準備がとても良く、助かりました。ソウルの夜の冷え込みが厳しく、私の防寒対策が不足でした。清川さんのライングループ作成は便利さを知りました。今回はスマホの自動翻訳アプリが大活躍でした。◎南浦項ロータリークラブの創立41周年記念式典式典進行は厳粛ですが、これまでとはかなり変化しています。ポイントを大切にしながらも簡素化されていました。来賓挨拶はガバナー補佐のみ。祝辞は国内外の姉妹クラブ会長だけ。親睦が中心です。大橋会長がハングル語で祝辞を終えた時、大拍手と共に台湾の方から「かわいい!!」と日本語の大きな声

が聞こえました。これは「善意のやさしい人」という意味だと知りました。台湾の方々は非常に明るく、会合を盛り上げてくれました。

◎南浦項ロータリークラブ会員3人との交流

◦今年、肺癌で亡くなった産婦人科医のイ ホグン元クラブ会長の弔問で病院へ行き、御遺族に会う。イ先生とは25年前から韓国と日本の医療や保険制度について話し合ってきた。私はロータリー活動にのめりこみ、入院患者の診療は止めて、医院を子どもたちに任せると述べた。彼はクリニックを郊外に移し、大きな老人病院、老人保健施設、リハビリセンター、東洋医学センターを作りたいと述べていた。薬剤師の夫人と事務長となる息子さんを八戸に視察に寄こした時もあった。アメリカの大学で医療経済学を学んだ息子さんが今回迎えに来てくれ、父母の夢を実現した大病院を案内してくれた。

◦自動車事故で足を骨折し、杖をついて歩いているキム ヨンウン元クラブ会長が、階段や坂道は歩けないが、運転は可能だからと眺めの良いコーヒーショップや昼食に案内してくれた。彼はガバナー補佐終了後に、クラブからガバナーノミニーに推薦されたが辞退している。はっきりと本音を述べる方で、勇気

があります。韓国人の特徴的な考え方の一つを教えられた。

◦イ ドンギョン PG はいつも心を込めて対応してくれる。大きな病気を乗り越えている。息子さんを海外での交通事故で亡くしている。加齢とともに難聴が少しあり、以前より言葉が少し減った。それでも彼は自分から、どの会員にも温かく話しかけ、とても真似ができない。尊敬している。姉妹クラブ結縁の時、私と同じ国際奉仕委員長で「お互いに相手の国の言葉を覚えよう」と約束した。会社に日本語の先生を毎週招いた。日本の歴史も勉強している。

◦このようにだれにでも仕事や家庭でいろいろなことがある、うれしいことやつらいことを、お互いに分かち合うのがロータリーの親睦だと思う。歴史、言葉や文化の違う外国のロータリー会員同士でも分かち合えると実感した。国際ロータリーだからこそ先入観を乗り越えられる。現在のように隣の国同士で戦争やテロが続いているニュースを見ると憂うつになるが、海外のロータリアンとメールのやりとりをし、ロータリーの国際奉仕活動を見ていると、国際ロータリーの素晴らしさも感じる。